

kōrekara

都市局まちづくり広報誌「コレカラ」

ともに考え、動き、つくる。まちのこれから。



vol.24
2016年Autumn発行



ボクが案内
するっチャ!
(仙台出身)

猫の「まぢみ」が、まちづくりの
見どころを紹介します。

整備着々“東日本の顔”へ

～ 都心エリアのまちづくり ～

「東日本の対流拠点」として平成28年3月、国の首都圏広域地方計画に位置付けられ、着実に整備が進むさいたま市。
大宮駅、さいたま新都心駅、浦和駅の3駅を中心とした「都心エリア」で進められている、まちづくりの最新事情をご紹介します。

大宮駅周辺

「大宮駅 グランドセントラル ステーション化構想」が進行中!

大宮駅周辺では、東日本の顔となるべく「グランドセントラル
ステーション化構想」が進行中。西口・第3-B地区再開発や
東口・大門町2丁目中地区再開発など、さまざまな整備計画が
進められています。

大宮駅西口 第3-B地区再開発



イメージパース

大宮駅東口 大門町2丁目中地区再開発



イメージパース



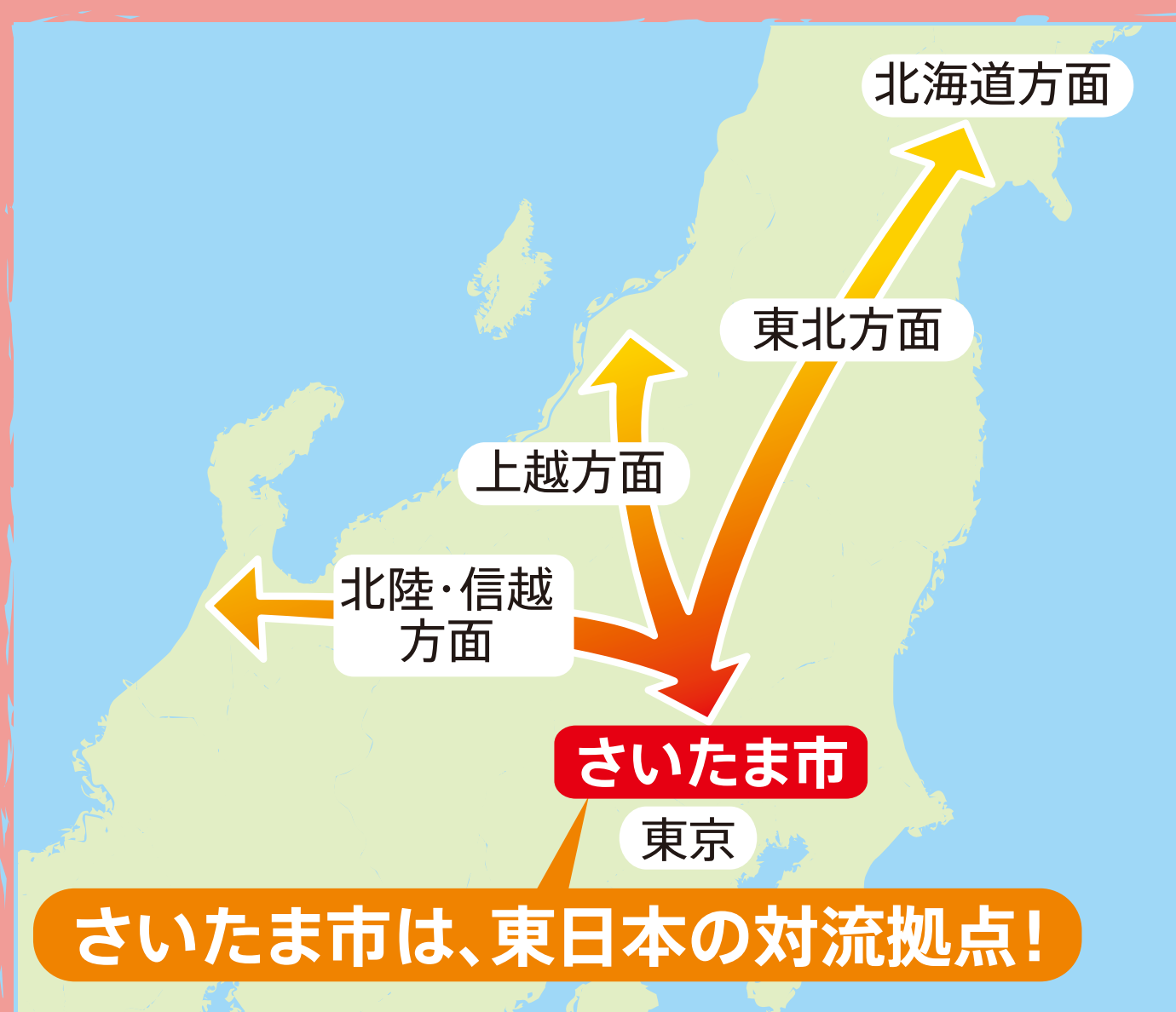
さいたま新都心駅周辺

高度な医療を提供できる最新 設備が揃った2つの病院が完成!

大人から子どもまで、高度な医療が受けられる最新設備が
揃った2つの病院が、平成29年1月に外来診療を開始予定。
妊娠・出産や救急救命などの際には、2つの病院が連携して
対応できる環境も整っています。

埼玉県立小児医療センター(左)

さいたま赤十字病院(右)



さいたま市は、東北・北陸圏などと 首都圏を結ぶ「対流拠点」

東北圏・北陸圏・北海道圏と首都圏を連結する「対流拠点」として
位置付けられたさいたま市。現在、その実現に向
けて環境や医療、交通、ビジネス、防災、観光など、
さまざまな視点から計画的に整備が進められて
おり、人や物が動く「拠点」としての機能がますます
向上しています。



ますます
魅力あふれる
まちになりそうだね!